

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		タウンサイクル				所管	都市づくり部 交通対策課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	208	計画事業名	タウンサイクル	事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現 [施策] 45 利用しやすい交通ネットワークの整備・充実				[事業開始]	平成	9	年度	
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区レンタサイクル条例						
	事業対象	直接の対象 : 一般区民等 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	身近な交通手段として自転車を共有することにより、区民及び来街者の自転車利用の利便性向上を図り、併せて放置自転車の減少を図る。								
	事業内容 [H30年度]	区立自転車駐車場及び台東区ホテル旅館協会に加盟しているホテル等(協定を締結)にレンタサイクルを配置し、区民、在勤者、観光客等に自転車を貸し出す。 レンタサイクル貸出場所(18箇所 配備台数194台) ①自転車駐車場 4箇所 配備台数157台 ②台東区ホテル旅館協会加盟のホテル・旅館 11箇所 配備台数37台 ③台東区ホテル旅館協会加盟のホテル・旅館 3箇所 利用申請書の配備のみ								
	委託の有無	一部委託	委託内容		レンタサイクルシステム稼働及び保守委託 等					
	補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	レンタサイクル貸出場所	箇所	18	19	18	18	20	90.0%	
	成果指標	年間利用台数	台	30,000	32,686	29,169	26,443	33,000	80.1%	
		駅前放置自転車台数	台	1,800	1,955	1,903	1,958	1,800	91.2%	
	決算額 (単位:千円)					H28年度	H29年度	H30年度		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				8,917	5,606	3,990		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				8,480	8,162	7,876		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0		
		総経費				17,397	13,768	11,866		
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				7,589	6,743	6,035			
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0			
	一般財源(区負担額)				9,808	7,025	5,831			
課題及び今後の進め方	従来のタウンサイクル事業では、区民の利用が少ないため放置自転車対策にはつながっていない。そのため、昨年度から実施している台東区タウンサイクル事業実証実験の進捗状況を検証し、放置自転車対策としての自転車シェアリングについて検討していく。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	利用台数は減少しているが、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、来街者の利用需要が増加すると考えられる。							
	効率性	3	リサイクル自転車の活用や、各駐輪場との運営上の連携を図ることにより事業を実施している。							
	手段の適切性	3	駐輪場の他、ホテル旅館協会と協定を結びレンタサイクルを配置する貸出方法は、おおむね適切である。							
	目的達成度	3	年間利用台数は減少傾向にあるものの、目標はおおむね達成されている。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
従来のタウンサイクル事業では、自転車の共同利用が十分に実現されず放置自転車対策にはつながっていないため、昨年度から実施している台東区タウンサイクル事業実証実験を継続し、その効果を検証しながら、自転車の共有化を推し進めていく必要がある。						維持	拡大改善 維持 縮小 廃止・終了			